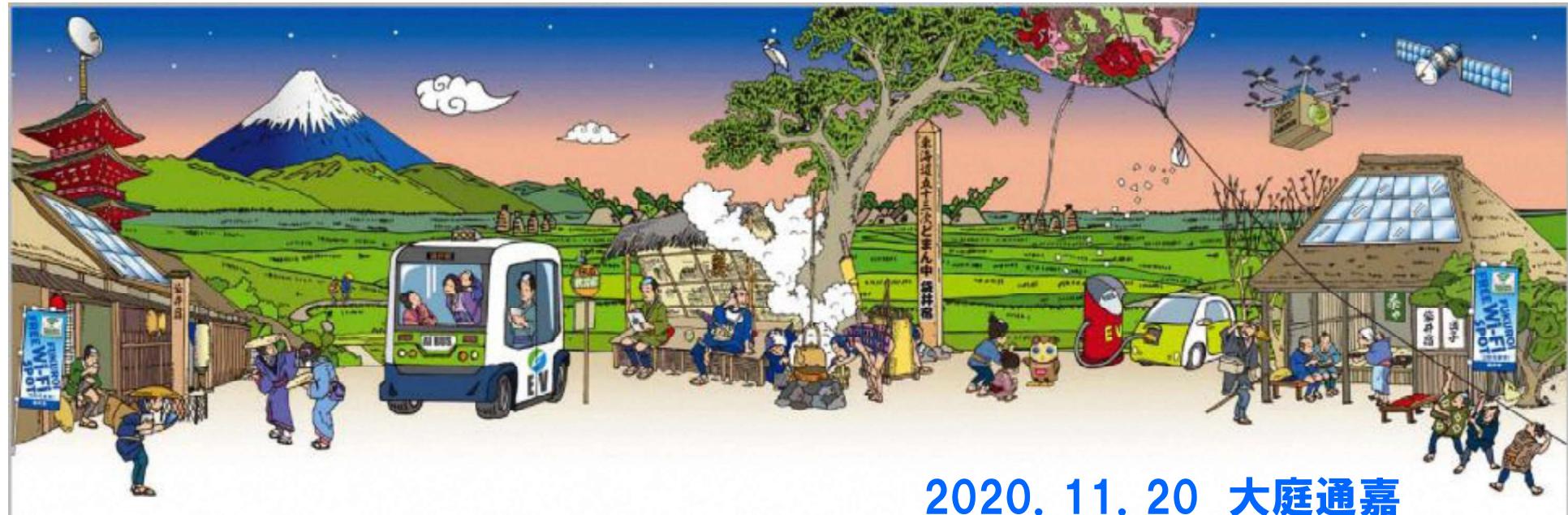


ICT活用特別委員会

ICT活用に関する意見書 概要報告



2020. 11. 20 大庭通嘉

副委員長 森杉典子 委員 近藤正美・岡本幹男・木下 正・田中克周・(敬称略)

ICT活用に関する意見書 11/9 提出

目 次

- 第1 はじめに
- 第2 袋井市の現状
- 第3 調査・研究対象と研究テーマの設定
- 第4 研究テーマに対する現状と課題
- 第5 提言
 - ・研究テーマに対する提言
 - ・今後のICT技術に対する提言
 - ・“新たな日常への対応”等に対する提言
 - ・“デジタルデバイド（情報格差）解消”に対する提言

第6 おわりに



ICT普及促進を
意見書 市長に提出

袋井市議会は九日、I.O.T（モノのインターネット）や低コスト・省電力で
広域通信ができる「LPWA」の技術を活用した河川
水位観測等システム、地域
見守りシステムの導入など
を柱とする情報通信技術
(ICT) 活用に関する意
見書を、原田英之市長に提
出した。

昨年六月に設置したIC
T活用特別委員会（大庭通
嘉委員長、六人）で市のさ
究を進めてきた。

原田秀之市長(左)に意見
書を提出する戸塚文彦
議長(右)=袋井市役所で

意見書にはI.O.Tなどの
利活用のほか、スマートフ
ォンや市の情報配信サービ
ス「メローねっと」などを
活用した市民への積極的な
情報提供▽教育ICT環境
の整備を図る国のGIGA
スクール構想の実現▽マイ
ナンバーカードの利活用に
向けた普及促進などを盛
り込んだ。

この日、戸塚文彦議長や
大庭委員長らが市役所を訪
れ、原田市長に意見書を手
渡した。原田市長は「やれ
ることから迅速に取り組ん
でいきたい」と話した。
(土屋祐二)

●はじめに
　　国の動向
（地方行政のデジタル化）

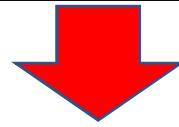
自治体戦略2040構想研究会 (H29.10～H30.6)

2040年頃をターゲットに人口構造の変化に対応した自治体行政のあり方の検討が必要

- 我が国の人団は、2008年(1.28億人)をピークに減少。**大都市部を中心に高齢化が急ピッチで進行。**
2040年頃には総人口は毎年100万人近く減少。
→ **自治体の税収や行政需要に極めて大きな影響を与える。**

高齢者人口がピークを迎える**2040年頃**(2042年に3,935万人)をターゲットに、
① 住民生活に不可欠な行政サービスがどのような課題を抱えていくことになるのか、
② その上で、住み動き、新たな価値を生み出す場である、都市をはじめとする自治体の多様性をどのように高めていくのか、
③ ①、②のために、**どのような行政経営改革、圏域マネジメントを行う必要があるのか**、
検討を進める必要がある。

持続可能で多様な自治体による行政の展開が、我が国のレジリエンス(強靭性)向上につながる。



自治体戦略2040構想研究会 (H30.7.3公表) 第2次報告 概要(抜粋)

スマート自治体への転換

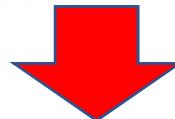
- 経営資源が大きく制約されることを前提に、**従来の半分の職員でも**
自治体が本来担うべき機能を発揮できる仕組みが必要。
- 全ての自治体で、**AI・ロボティクスが処理できる事務作業は全てAI・ロボティクスによって自動処理**するスマート自治体へ転換する必要。

DX(デジタルトランスフォーメーション)

デジタル変革は今や急務

経産省H30ガイドライン作成

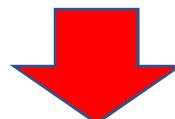
令和元年12月



デジタルガバメント 実行計画 閣議決定

デジタル手続法 5月法成立 12月施行

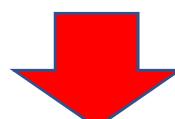
令和2年6月



コロナ禍でICTに拍車
地方行政のデジタル化 地方制度調査会答申

2040年頃から逆算し顕在化する諸課題に対応するために必要な地方行政体制のあり方等に関する答申

令和2年9月



管内閣誕生 デジタル庁

世界的にも遅れている

日本のデジタル行政

令和3年新設

●袋井市の現状

昭和45年	旧袋井市 給与計算を電算センターに委託
昭和60年代	旧袋井市 浅羽町 電算化を導入
平成21年	袋井市ICT推進計画策定
平成25年	第2次袋井市ICT推進計画策定
平成28年	袋井市教育情報化推進計画策定
平成31年3月	第3次袋井市ICT推進計画 ・官民データ活用推進計画策定

●調査・研究対象と研究テーマの設定 ICT活用特別委員会の取組

No.	研究テーマ	分野	重点事業
1	LPWA通信網整備とIoTの利用推進	防災	IoT河川水位観測等システム
		協働	IoT地域見守りシステム
		産業	IoT農業
2	情報配信システムを活用した 市民への積極的な情報提供	防災	防災情報配信システム
		市民	Web情報配信システム
3	GIGAスクール構想	教育	タブレット・Wi-Fi等学習環境整備(ICT支援員)
4	マイナンバーカード利活用調査研究	市民	マイナンバーカード利活用
5	RPAによる行政事務の効率化	市民	RPAによる行政事務の効率化

●LPWA通信網整備とIoTの利用推進

Low Power Wide Area

低電力ながら長距離通信が可能な通信方式

IoT

モノのインターネット：インターネットを介して作動



●IoT河川水位観測等システム

✓ 水位観測用センサーの設置



9月9日下見時



できるだけ川の中に伸ばして
センサーを仮設置

市内17カ所に設置を検討中

◇アンダーパス水位データ観測事業



- 現在の水位観測システムはSDカードの記録するためのものでリアルタイムの情報が得られていない
- 昨今の豪雨災害は水位の急上昇化が特徴、センサーで雨量を計測し警戒水位を越えた場合、建設課にアラートを発することで初動体制を強化
- 既存システムとの併用により、新規システムの制度を検証できるため、台風シーズンを前に事業化
- 水位センサーは1機40万円程度。ただしコロナの影響でセンサーが調達しにくい状況。
- **下の3カ所に設置済み**



高尾



下地



新池

◇常習冠水道路水位データ観測事業

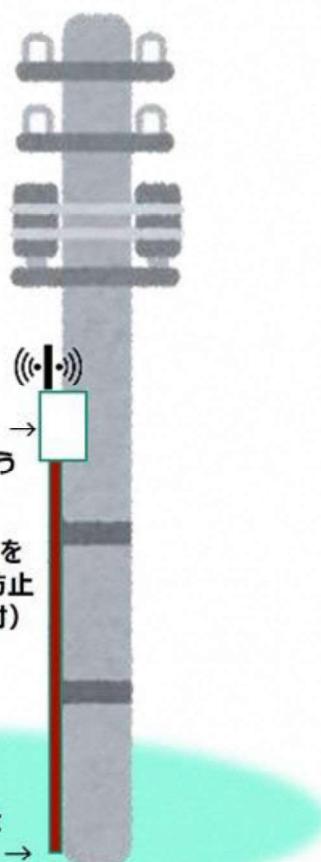


太郎兵衛新道

① 漏水センサーを
防水の箱に入れてしまう

② 塩化ビニル等の管でセンサーを
養生し、雨による誤検知を防止
(管の中の固定方法は要検討)

③ 浸水してきた水のみを
漏水センサーで検知 →



漏水センサー
付属検知ケーブル



水位センサ

●IoT地域見守りシステム

◇見守りシステムの概要

端末を保有する家族の現在地や移動履歴を提供する中部電力のサービス
・同システムを、スクールガードリーダーや徘徊SOSネットワークなど地域における見守り活動に活用できないかを研究



専用端末



実証事業について

- 中部電力ミライズ株式会社と袋井市は、平成30年度と令和元年度に、GPSを活用した子どもの見守りについて、山名小学校の児童とその保護者を対象に実証実験を行いました。

実施時期	対象児童	参加人数
平成31年2~3月	山名小学校1~2年生	35世帯36人
令和元年6~7月	山名小学校1~6年生	64世帯70人



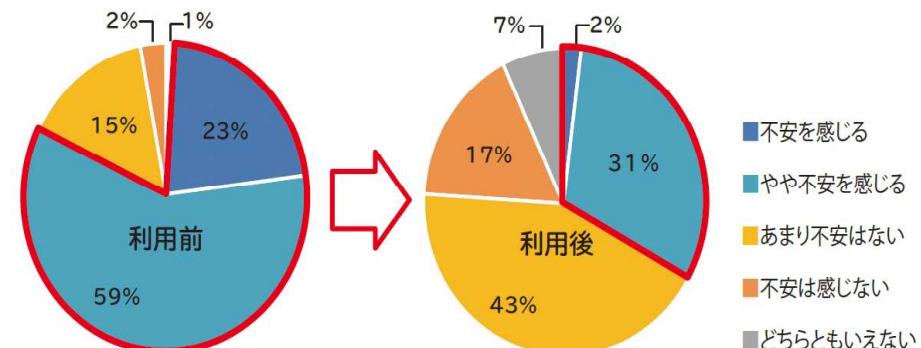
実証事業の結果

利用者アンケートの結果

- 利用者の97%が「サービス利用により不安を解消できた」と回答。
- 児童の登下校に不安を感じる割合が82%から33%に減少。
- 実証実験終了後も62%の方がサービスを継続利用。

実証実験は無償で行った。

Q. 子どもの外出に不安を感じますか？



利用者の声

帰宅時間に合わせて、親も自宅にいることができる！



携帯電話と違い、学校へ持っていくことに支障がなく便利！

迎えのタイミングがつかみやすい！



登録した場所に到着すると知らせてくれて便利！

どこにいるか分かるだけで大きな安心材料になる！



長い通学路でも不安が軽減できた！

中電のサービス「どこにやん」と言う名称で製品化。端末5000円 使用料500円／月

◇高齢者のはいかいに対する見守り実証実験

袋井で「はいかいSOSネットワーク」



GPS端末と専用靴

発見から保護まで模擬訓練

袋井市と市内の事業所、自治会などでつくる「はいかいSOSネットワーク」が、衛星利用測位システム（GPS）機能とスマートフォンなどのアプリを使って行方不明の認知症高齢者を捜す模擬訓練を、同市浅羽地区で行った。

七十五歳の認知症の男性が、行方不明になつたとの想定で実施。コンビニやガソリンスタンドなどの協力事業所と浅羽地区の自治会役員、社会福祉協議会

行方不明高齢者 GPS使い搜索

袋井市と市内の事業所、自治会などでつくる「はいかいSOSネットワーク」が、衛星利用測位システム（GPS）機能とスマートフォンなどのアプリを使って行方不明の認知症高齢者を捜す模擬訓練を、同市浅羽地区で行った。

七十五歳の認知症の男性が、行方不明になつたとの想定で実施。コンビニやガソリンスタンドなどの協力事業所と浅羽地区の自治会役員、社会福祉協議会

職員、地域包括支援センター職員らが参加し、捜索から発見、保護までの一連の流れを確かめた。

男性の名前や年齢、特徴などの人定情報が捜索協力者に一斉にファクスされたほか、中部電力が開発したGPS端末と専用アプリを活用した。認知症高齢者の靴のかかとにGPS端末を仕込む方法で家族が居場所を常時確認できる仕組みになつており、男性の家族役一人がスマートフォンやタブレットの画面上に現れる

職員、地域包括支援センター職員らが参加し、捜索から発見、保護までの一連の流れを確かめた。

GPSを活用した見守りサービスが事業化できるか検討していく

者は「訓練の成果を検証し、GPSを活用した見守りサービスを発見し、保護した。

市地域包括ケア推進課の担当者は「訓練の成果を検証し、GPSを活用した見守りサービスが事業化できるか検討していく」と話した。同ネットワークは、「徘徊高齢者らの安全確保とその家族を支援するために二〇一一年に発足。九月末現在の協力事業所は百四十社以上。（土屋祐二）

スマホなどの位置情報を用いて行方不明者役を捜す家族役一袋井市で

実証実験は無償で行った。

✓ GPSの携帯方法

携帯方法

GPS内蔵靴またはキーホルダーを活用して、
高齢者の携行について調査を行った。

GPS



端末サイズ

5cm × 5cm × 1.9cm

GPS内蔵靴



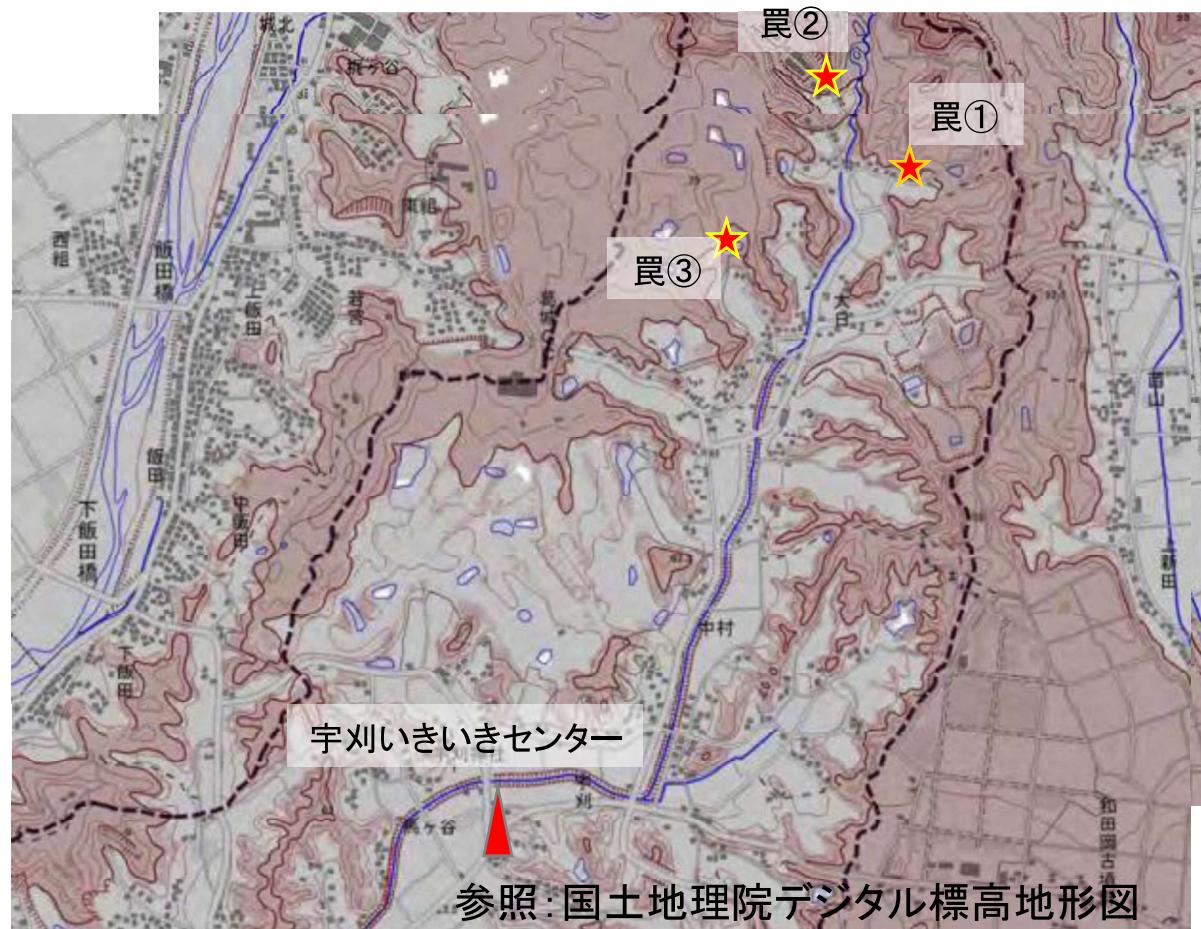
サイズは22cm～27cm

キーホルダー



● その他のLPWA実験

◇ 獣(いのしし等)害対策実証実験概要



✓ 罠の設置



✓ 罠への開閉センサー設置

罠の扉が下りると、センサーが反応



磁石



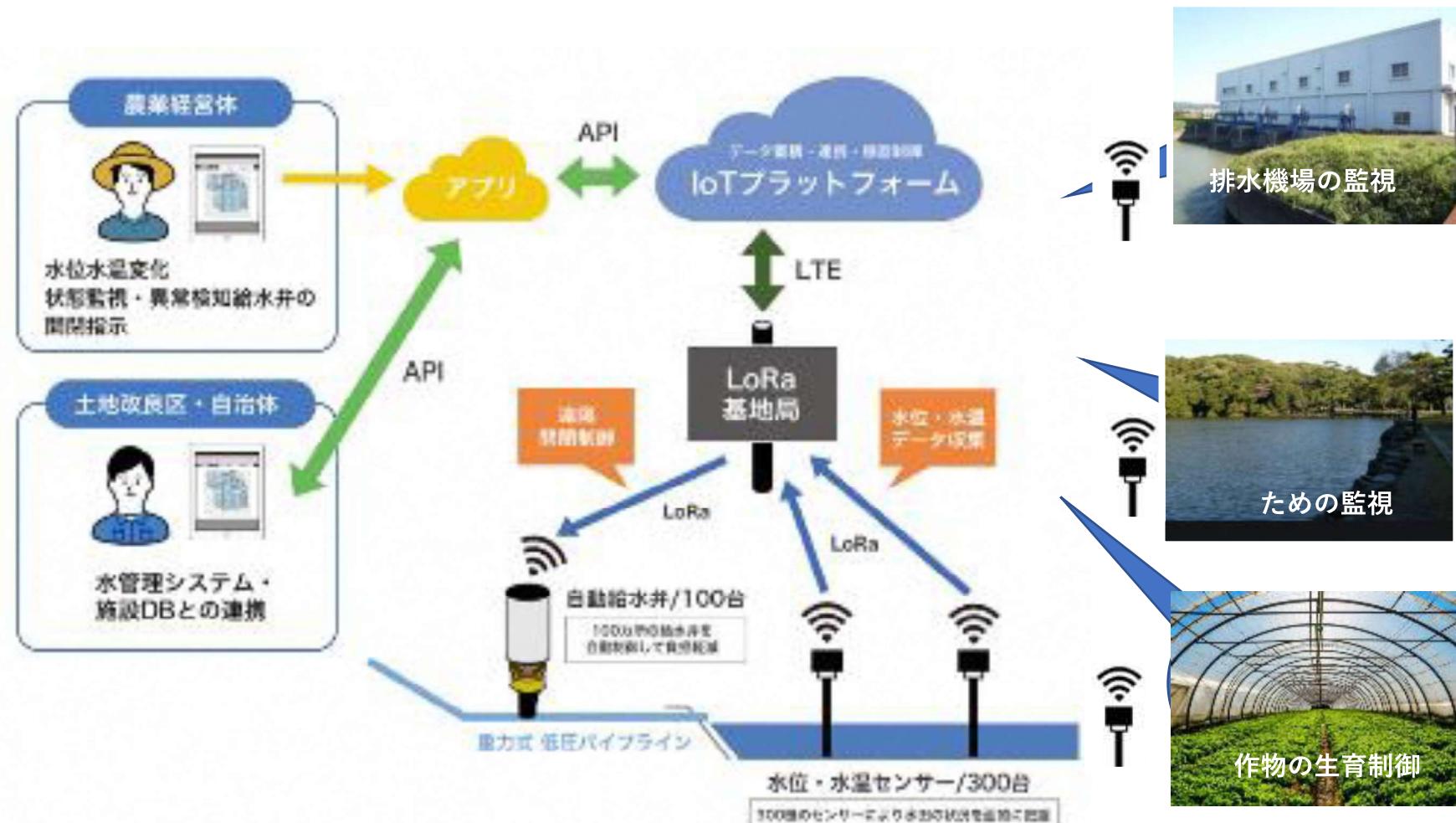
開閉センサーとケース



中継器設置の様子(大日螢の里)

● LPWAを活用した IoT農業

◇水田水管理ICT活用コンソーシアムとの事業連携概要



【水管理システム導入により、期待される効果】

①水管理労力の削減

- ・給水栓の開閉が自動もしくは遠隔で操作できる
- ・水位の見える化で見回り経路の縮減が可能

②用水量の節減

- ・設定水位にて自動開閉のため、無効給水の防止
- ・上流側システムとの連動することで効率的水運用が可能

設置費用が高額 → 経営体が導入できず、普及していない

【農林水産省の公募研究】

平成28年度補正予算 革新的技術開発・緊急展開事業（経営体強化プロジェクト）
研究課題名：低成本で省力的な水管理を可能とする水田センサー等の開発

目的：安価なシステムを開発、導入を促進

公募条件：①自動給水栓 3～4万円程度/基
 ②水田センサー 1万円程度/基
 ③無線基地開発 通信コスト大幅削減
 ④水管管理コスト 1/2程度に削減

→ 静岡県が参画するコンソーシアムを採択

水田水管理ICT活用コンソーシアム



【コンソーシアムが開発する水管理システム】



【開発機器の説明】

★日本最大級の規模 65ha

・自動給水栓

100基設置

- ・既存の給水栓バルブに取り付け可能
- ・乾電池を電源
- ・遠隔操作が可能
- ・水田センサーとの連動で、設定水位の自動開閉設定も可能
- ・内部ネジ操作で開度調整が可能

・水田センサー

300基設置

- ・水位、水温のみを測定
- ・水位は0.1cm単位で計測
- ・誤差1cm以内
- ・30分に1回計測
- ・タブレットで水位確認可能
- ・自動給水栓と連動



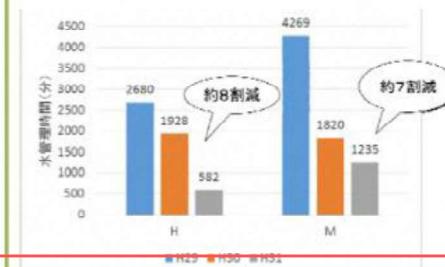
◆無線基地局◆

- ・7基設置
- ・基地局から半径2km以上の範囲で無線通信が可能
- ・現地実証の400台のデバイスとの通信を確認

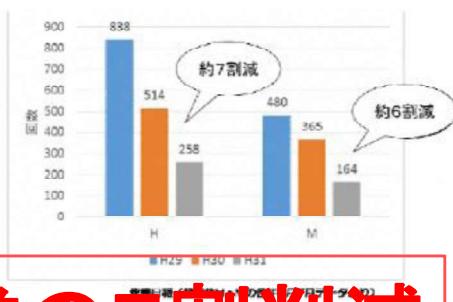
磐田市・袋井市の5経営体(76ha・289ヶ所)の圃場
水田センサー300箇所 自動給水栓100箇所で2年間の現地実証

【水管理システム導入による効果】

水管理時間の削減



給水栓操作回数の比較



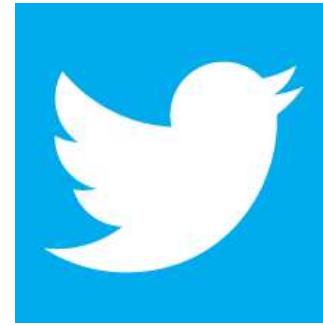
★水管理作業の7割削減

内容	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・機器開発(水田センサー・自動給水栓・基地局)及び設置 ・現地実証研究 ・開発機器の調整・改良 ・省力効果分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・現地実証研究 ・開発機器の製品化に向けた調整 ・省力効果分析 	

●情報配信システムを活用した 市民への積極的な情報提供



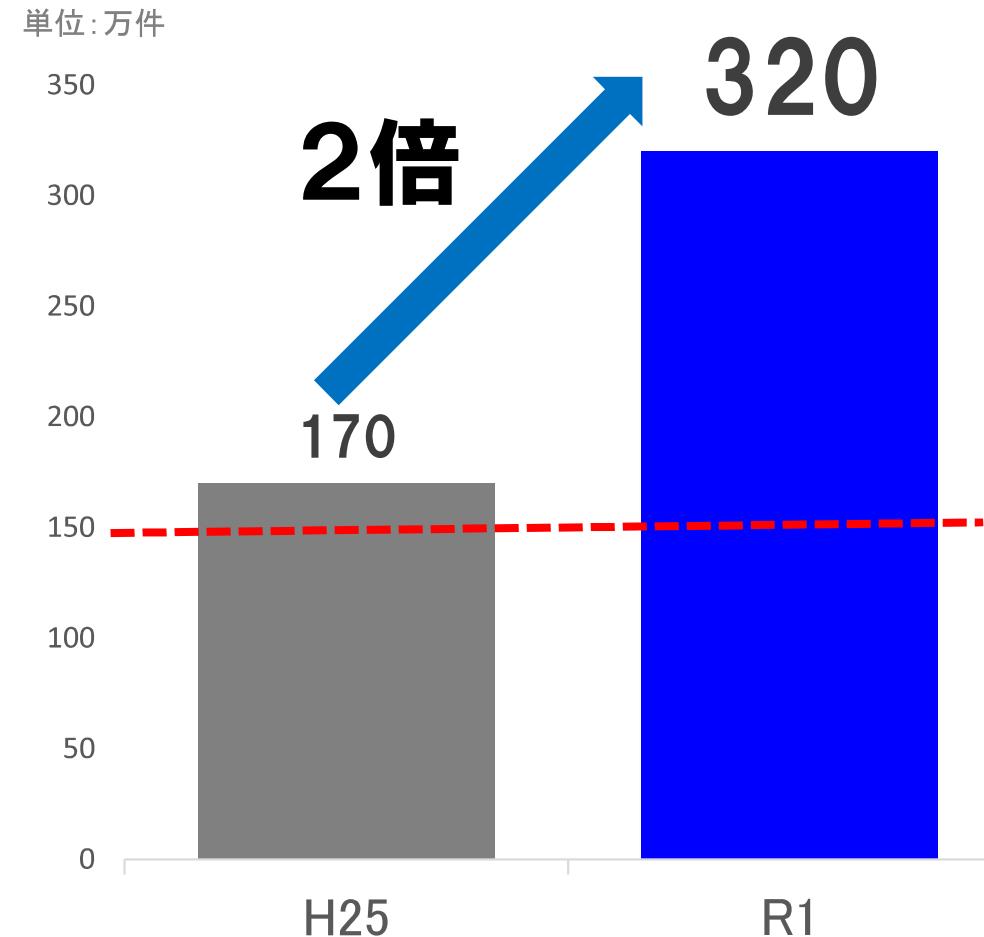
■袋井市情報伝達メディア



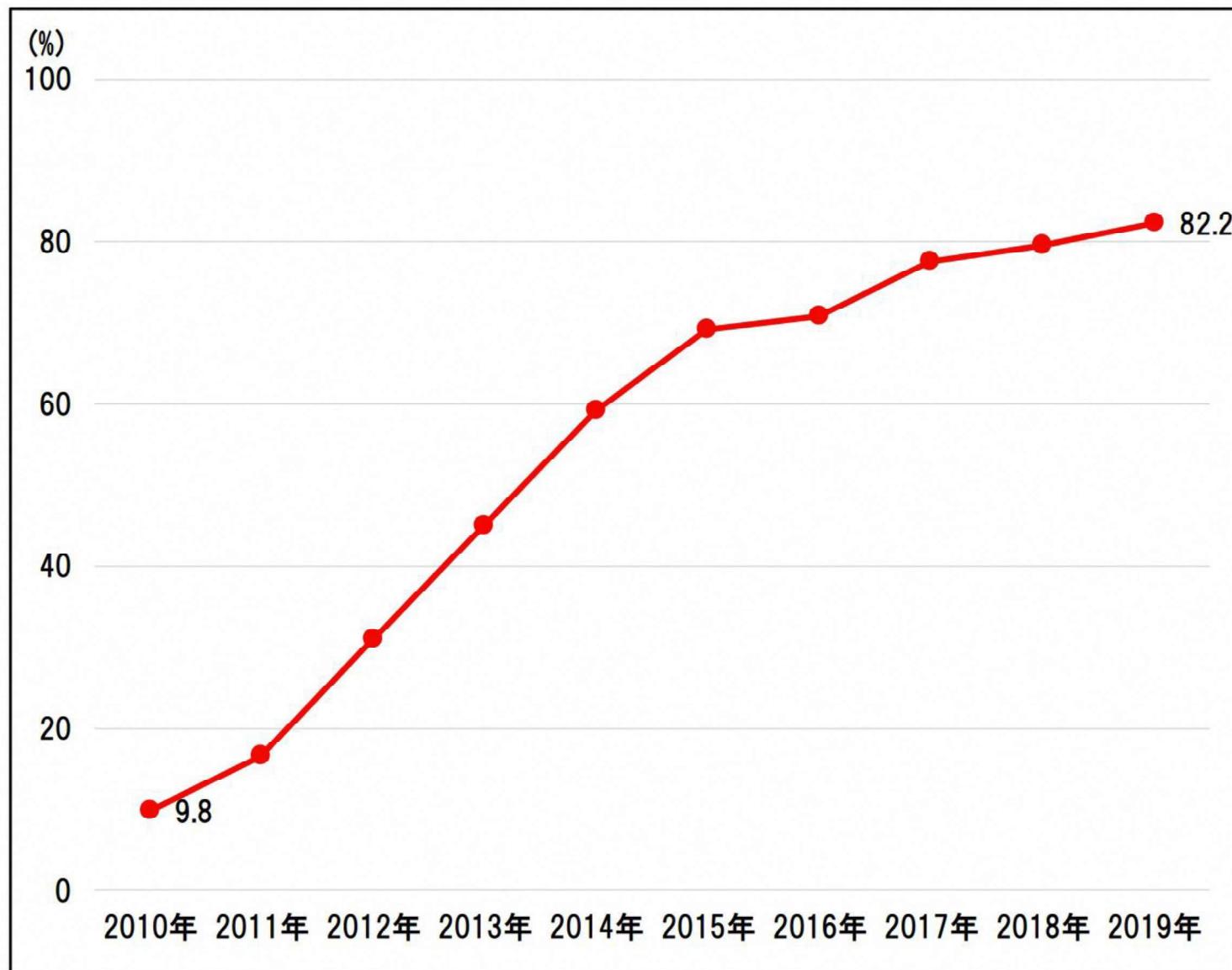
➤ ホームページアクセス（R2/2月末現在）

アクセス件数		3,296,773件	
閲覧機器	パソコン	スマートフォン	58.26%
	タブレットなど	36.26%	5.21%

The screenshot shows the official website of Fukuroi City. It features a top navigation bar with links for Home, Neighborhood, Handicrafts, Childcare/Education, Health/Care/Well-being, Culture/Arts/Local Products, Municipal Information, and Business/Farmers. Below this is a sidebar with links for important notifications, useful services, and event calendars. The main content area includes a banner for a new system launch, a 'Walk' campaign, and several search and browse sections for various city services like waste disposal, recycling, and local events.



◆スマートフォン所有率の時系列推移: 東京地区



スマホファースト型Webシステム構築事業

◆目的

市民への的確な情報伝達と、市民サービスの向上、行政事務の効率化を図るため、スマートフォン利用を基本とした情報配信や相談、申請を可能としたWebシステムを構築する。

平成31年4月 全国初！

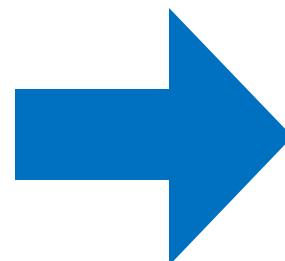
AIチャットボット総合案内サービス開始



コミセンLINE公式アカウント



当初、9地区
1,505登録者人



その後、すでに
14館に展開済み

●GIGAスクール構想

Global and Innovation Gateway for All

:誰一人取り残すことなく子ども達に個別最適化のICT環境を



子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、

1人1台端末を整備しICT環境の充実を！



端末整備について

2020年11月末までに

小中学校の子ども達にタブレット導入

◆ 1人1台端末を早期に実現 (必要台数 7,993台)

最初にLTEにて iPad 1,280台は整備済み

計235,489,980円 (市費)

その後、国の補助にてWi-Fi環境整備

残り 1,376台を iPad に 「ソフトはアップルのiOS」

90,756,810円

残り 5,337台を Chromebook (Wi-Fi) に

「ソフトはGoogleのChromeOS」

342,718,710円

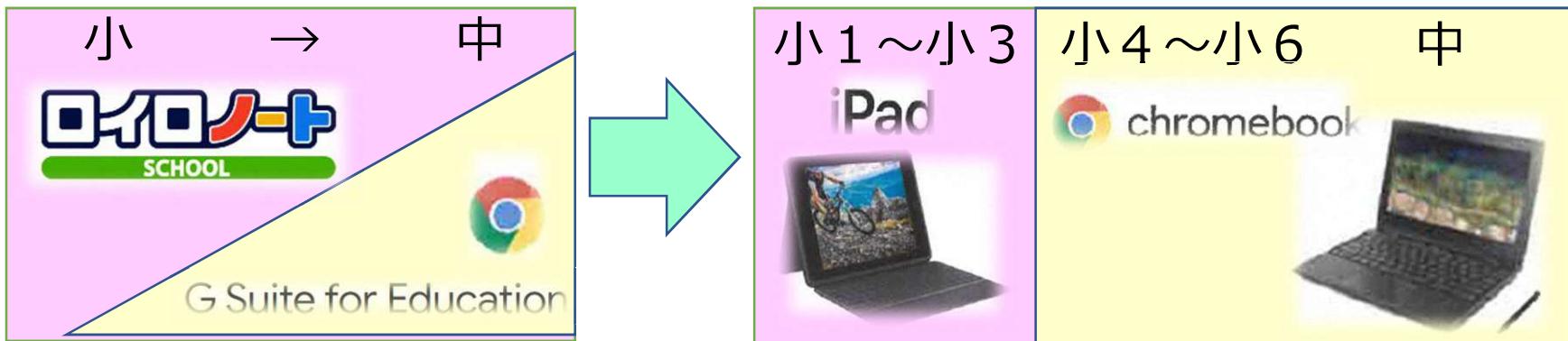
計433,475,520円 (うち国庫補助237,870,000円)

◆ Wi-Fi整備

計229,240,000円 (うち国庫補助94,495,000円)

端末整備について

◎小学校1～3年生がiPad 小学校4年生～中学生がchromebook



◆当初 iPadでしか使えなかったロイロノートが
chromebookでも使えるようになった

- ・「ロイロノートweb版」がリリースされたことで、選択肢が広がった
- ・小学校1～3年生は、操作の容易さ、持ち運びのし易さなどから、iPadが望ましい
- ・小学校3年生でローマ字を学習し、4年生からキーボード操作が増える
- ・キーボード打ちはchromebookの方がしやすい
- ・教職員の異動が多い磐田市・森町と可能な範囲で統一できるよう、考え方を共有
- ・小中でそれぞれのOS・端末に触れ、学びを深めることも、将来を考えるととても有効

端末整備について

端末配置の考え方

令和3年度末まで（浅羽中の建替え工事期間）

- ・現在のLTE iPad 1,280台の内、浅羽中生徒数608台を浅羽中用に使用
- ・浅羽中用を除いた残りの672台を、学校規模に応じて各小学校に振り分ける
- ・3中学校はchromebook。（LTEが必要な際は、学園内の小学校と調整）

令和4年度から

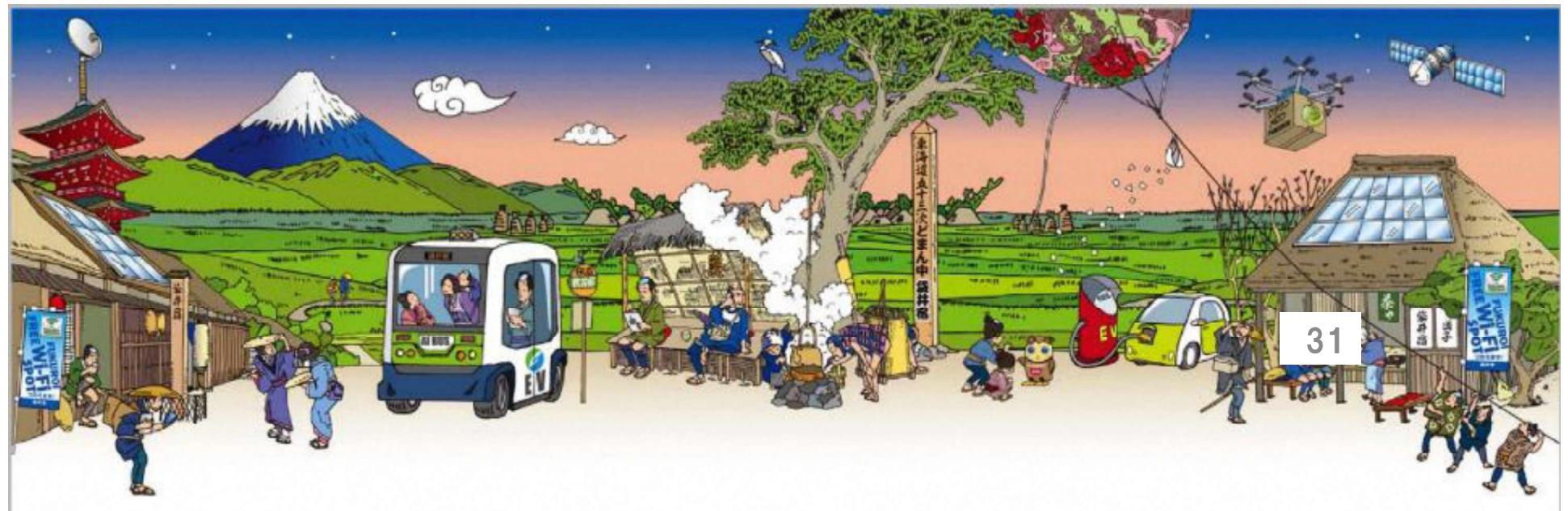
- ・小学校4年生以上にchromebook
- ・小学校1～3年生はiPadを配置
- ・LTE iPadをバランスよく配置し、中学校でも必要に応じて使用可能に

令和6年10月から

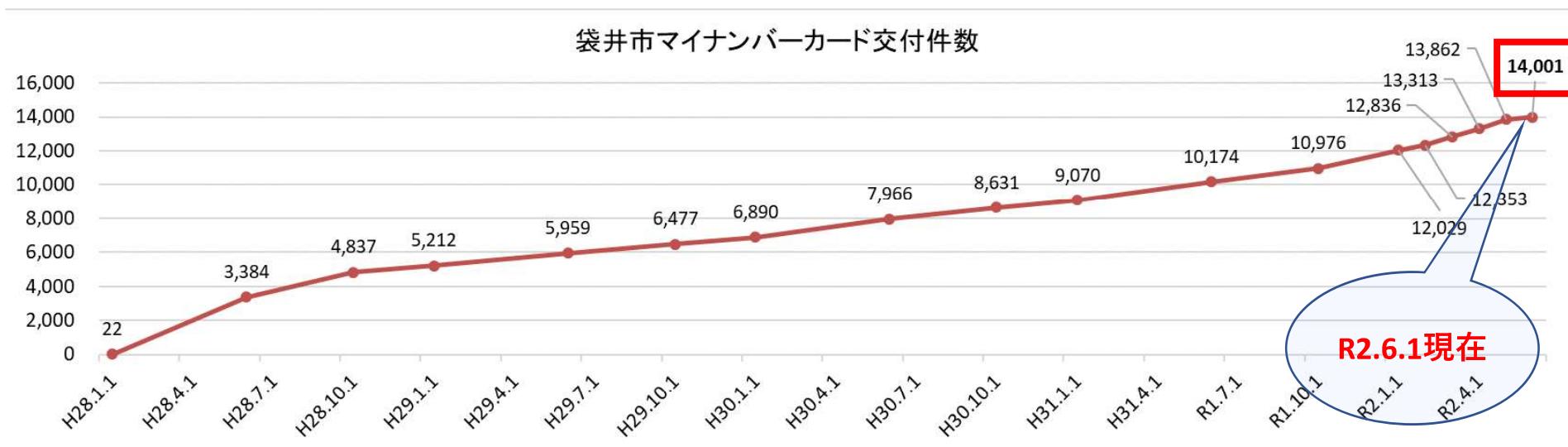
- ・LTE iPadは各校に40台ずつ（現在の半分以下）になり、通信費削減



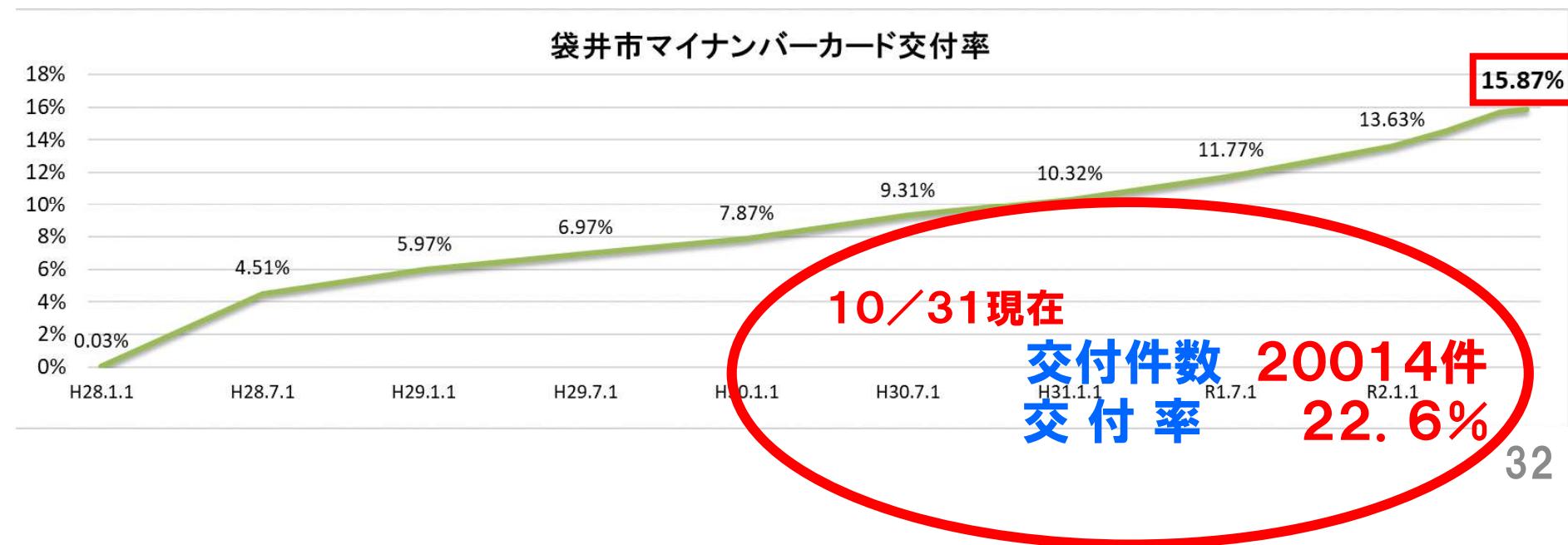
●マイナンバーカード利活用調査研究



本市のマイナンバーカード交付件数推移



R2.6.1現在



10/31現在

交付件数 20014件
交付率 22.6%

マイナンバーカード交付件数（令和2年7月5日現在）

- マイナンバーカードの交付率は、袋井市は17.13%、市の中では9番目（町含め12番目）
- 本市のカード交付率は、県平均を0.83%上回る一方、国平均を0.42%下回る
- 近隣市町と比べると、本市の交付率は高い

no	交付率	市名	人口	交付枚数
1	22.54%	富士市	254,110	57,271
2	22.19%	熱海市	37,042	8,220
3	21.34%	下田市	21,748	4,642
4	20.67%	伊豆の国市	48,860	10,097
5	19.80%	御殿場市	88,856	17,596
6	19.26%	裾野市	52,001	10,014
7	18.10%	焼津市	139,876	25,317
8	17.45%	三島市	110,352	19,258
9	17.13%	袋井市	88,234	15,117
10	17.06%	藤枝市	145,550	24,826
11	16.82%	島田市	108,737	16,601
12	16.34%	静岡市	702,395	114,761
13	16.14%	菊川市	48,275	7,752
14	16.01%	磐田市	170,038	27,221
15	15.94%	沼津市	195,986	31,243
16	15.38%	伊豆市	30,952	4,759
17	15.10%	湖西市	59,678	9,013
18	14.83%	伊東市	69,215	10,264
19	14.31%	掛川市	117,931	16,873
20	14.09%	富士宮市	132,961	18,732
21	13.96%	御前崎市	32,733	4,568
22	13.69%	浜松市	804,780	110,167
23	12.56%	牧之原市	45,990	5,776

12位／22.6%／35市町

10/31現在

no	交付率	市名	人口	交付枚数
1	29.88%	賀茂郡西伊豆町	7,954	2,377
2	23.60%	賀茂郡東伊豆町	12,277	2,897
3	21.81%	駿東郡小山町	18,781	4,097
4	16.99%	賀茂郡南伊豆町	8,321	1,414
5	16.57%	賀茂郡松崎町	6,698	1,110
6	16.12%	駿東郡長泉町	43,558	7,022
7	15.64%	賀茂郡河津町	7,287	1,140
8	15.04%	駿東郡清水町	32,596	4,901
9	14.03%	榛原郡川根本町	6,863	963
10	13.53%	田方郡函南町	37,758	5,108
11	13.01%	周智郡森町	18,440	2,399
12	12.56%	榛原郡吉田町	29,684	3,728

区分	交付率	比
袋井市	17.13%	22.6% -
静岡県	16.30%	21.32% -
国	17.55%	21.83% -

10/30現在 33

本市のマイナンバーカードの普及拡大の取組

③マイナンバーカードを活用した電子申請



電子申請ができる業務（令和2年6月現在）

区分	サービス
児童手当	児童手当等の受給資格及び児童手当の額についての認定請求
	児童手当等の額の改定の請求及び届出
	児童手当等の現況届
	受給事由消滅の届出
	児童手当等に係る寄附の申出
	児童手当等に係る寄附変更等の申出
児童扶養手当	児童扶養手当の現況届

④証明書等のコンビニ交付



- ▽利用時間
毎日(12月29日～1月3日、メンテナンス日を除く)
午前6時30分～午後11時
- ▽利用できる
コンビニエンスストア
セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、サークルKサンクス
(全国の各店舗で利用できます)
- ▽サービス開始日
平成29年4月3日(月)から

市ホームページでは「証明書コンビニ交付サービス」について、詳しく案内しています。

市役所や浅羽支所に出向かなくて
も、コンビニエンスストアで、夜間・
休日でも個人番号カード(マイナン
バーカード)を利用して、住民票の写し
や印鑑登録証明書などの各種証明書が
取得できます(手数料がかかります)。
このサービスは市外のコンビニエン
スストアでも利用ができます。市外に
通勤している方も休憩時間や通勤途中
に利用できるサービスです。
※利用できるコンビニエンスストアは
左をご覧ください。

●コンビニエンスストアで取得できる証明書

対象となる証明書	手数料
住民票の写し、印鑑登録証明書、 所得課税証明書(最新年度分のみで、毎 年7月中旬更新)、戸籍の附票※	300円
戸籍謄本※	450円

※住所と本籍が袋井市の方のみ

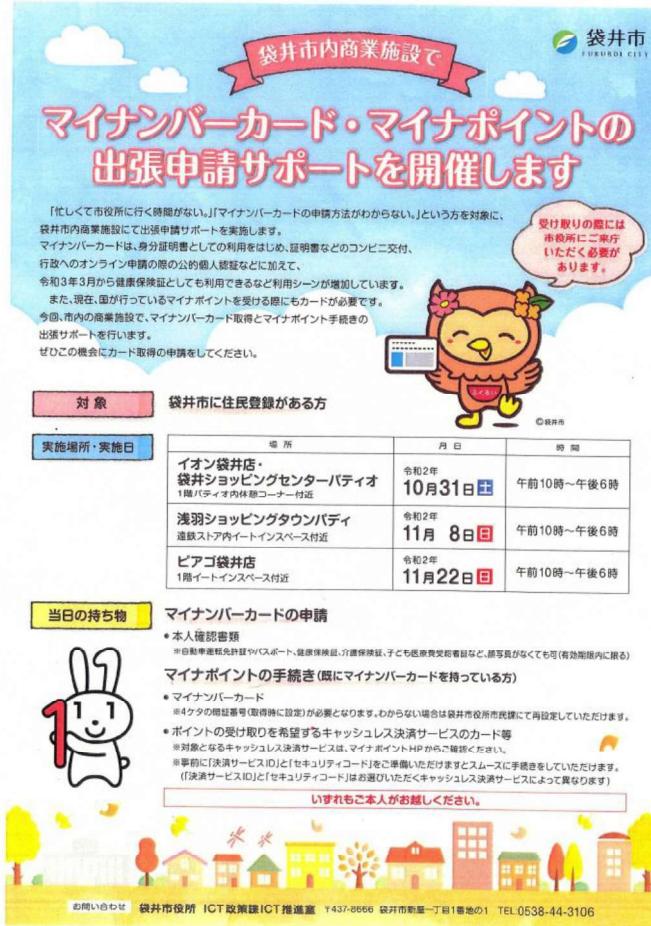
証明書等交付件数 (H31.4～R2.3)

区分	窓口他	コンビニ	コンビニ率
戸籍謄本	6,041	139	2.2%
住民票謄本	13,987	1,292	8.5%
戸籍謄本	1,078	18	1.6%
印鑑証明	19,078	1,014	5.0%
所得課税証明	6,816	151	2.2%

47,000件 2,614件 5.2%

「証明書コンビニ交付サービス」とは

本市のマイナンバーカードの普及拡大の取組



広報動画の発信

市ウェブサイト・本庁舎1階市民課

9月議会

新型コロナウイルス感染症対策費

(マイナンバーカード普及事業30,000千円)

35

●RPAによる行政事務の効率化



➤ RPAとは？

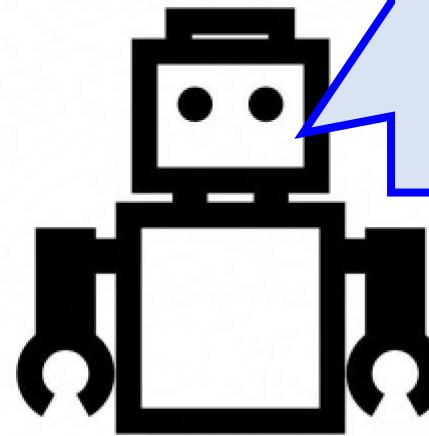
Robotic **P**rocess **A**utomation

ロボットによる業務(作業)自動化

人間がパソコン上で行う作業を
自動化するように設定されたソフトウェアロボット

➤導入目的

- 業務時間の短縮
- 業務生産性向上
- コスト削減
- 不足労働力の充足
- 業務品質の向上



例えばRPAを活用したコスト削減は、
45%
～**75%**
可能とか

定型作業の自動化により達成

近い将来にはAIがRPAに組み込まれ非定型業務も可能に

電子申請化を推進

袋井市は、コロナ禍における新たな日常生活において、電子市役所の早期実現を目指し、まずは行政手続きや申請に係る業務の電子申請化を積極的に進めます。



➤ 活用イメージ



- ✓ Windows上のあるあらゆるアプリケーション、自社システム、ERP、OCR等との連携可能。
- ✓ インプットデータを作るところから、システムへのデータ登録まで一連の業務を自動化。
- ✓ 一貫した自動化も、途中で人の判断を介入させることも可能。
- ✓ 生産性の向上だけでなく、転記・集計などの作業ミスも防止でき、業務の品質が向上。

■ すこやか子ども課：保育所入所申込

市民と行政双方の負担軽減を図り、人の接触機会を減らすため、全体的な事務量に占める負担割合の高い入所受付事務から電子化。

認知度が高くスマートフォンにも対応している国の「ぴったりサービス」を活用した電子申請を導入。

従来の申請項目を精査し、記入方式からチェック方式に変更することで、申請者が簡便で入力ミスが無いよう配慮した設計。

9月から実施
190Hの効果



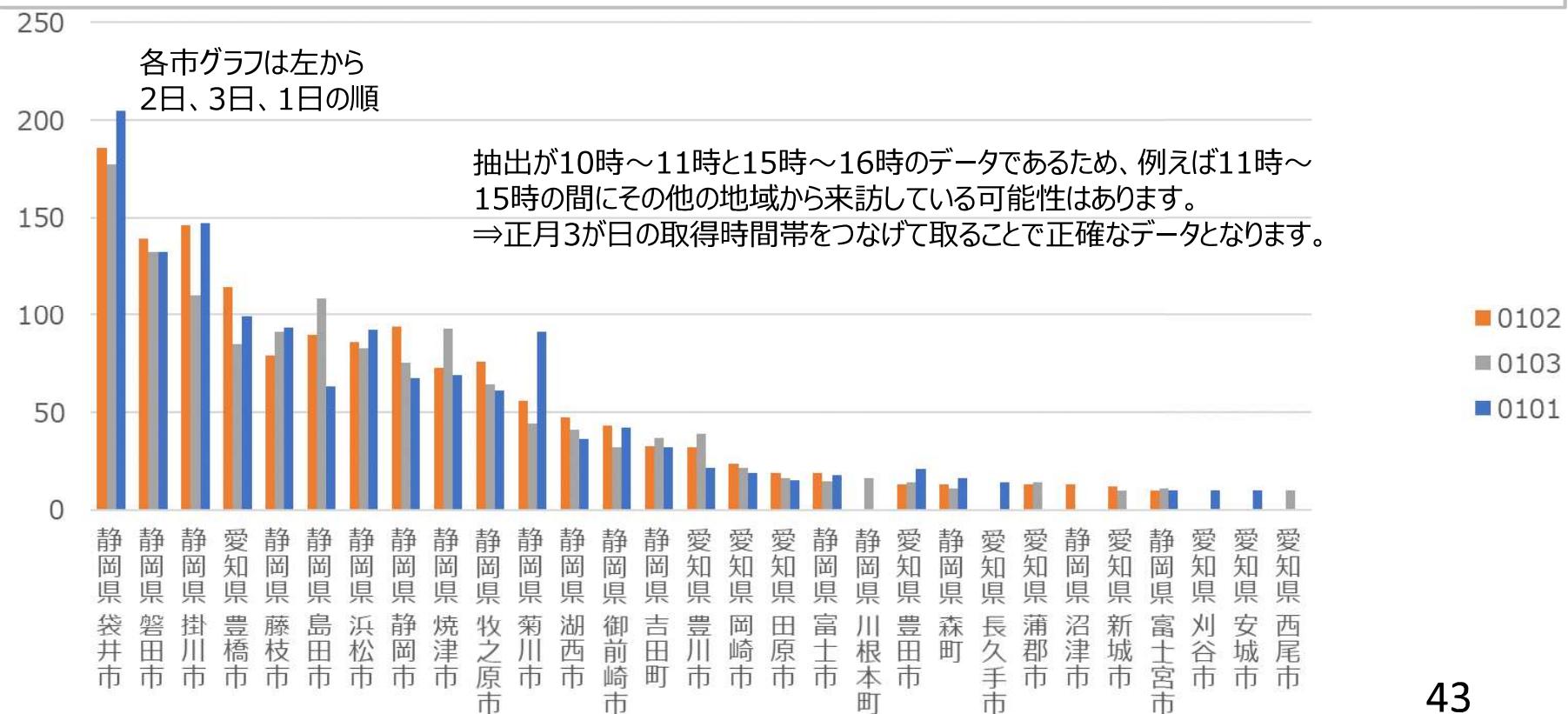
●その他

- オープンデータ・ビッグデータ
- 5G
- 音声認識・文字認証・顔認識
- VR(仮想現実)AR(拡張現実)
- クラウドコンピューティング
- ブロックチェーン



観光分析の活用例（法多山の初詣来訪者分析）

法多山の正月3日間の10時と15時（合計6時間帯）の平均値を来訪者居住地別に並べると、上位5位までは袋井市、磐田市、掛川市（磐田・掛川同数）、豊橋市、藤枝市の順になります。また、来訪者は静岡県と愛知県在住の方のみです。



VR

Virtual Reality

「仮想現実」と訳され、仮想的な世界をあたかも現実のように体験できる技術。VRの特徴は「目の前にある現実とは違う現実を体験できる」こと。VRの具体的な例として、「立体眼鏡」をかけると、今まで見ていた景色とはまったく異なる光景が目の前に広がり、空や宇宙を飛んでいたり、有名な観光地にいたりすることを体験できる。

AR

オーグメンテッド リアリティ ***Augmented Reality***

「拡張現実」と訳され、現実の風景に特定の情報を重ね合わせて表示する技術。



GPS位置情報を利用し、その場所の時間を辿った情景をVR映像として配信。
来訪者・観光客に、そこでしか得られない感動体験を提供！

バーチャルリアリティ(VR)と全地球測位システム(GPS)を組み合わせた観光ガイドアプリ

ストリートミュージアム[®]アプリ

今は天守台しかない場所でも



VRで復元することで



観る

当時の姿を実体験！

VR技術により高精細で正確な文化財の復元を行い、GPSを用いて現地現実空間と仮想空間のマッチングを行う

聴く

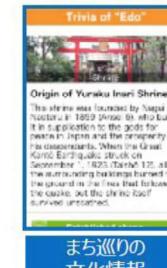
音声ガイドで史跡を紹介！

VRで見ている場所がどんな場所なのか、どんな歴史的価値があるのか、音声ガイドで解説が聴ける

インバウンド対応

観光資源を世界に発信！

インバウンド顧客の取込施策として、日・英はもちろんのこと、中(繁簡)・韓にも対応（※遺跡により異なる）



まち巡りの
文化情報

多言語地図で案内



絶賛
公開中！
45

現地で過去へタイムトリップ！VRによる史跡観賞だけでなく、古地図や
スタンプラリーで楽しみながらまち歩き、現地ならではの体験感を高めて回遊を促進！

VR復元 史跡

VRで復元した在りし日の史跡と現地の風景
を見比べながらバーチャルツアーとして体験。



SNS 記念撮影

CG復元した史跡を背景に記念
写真を撮影！SNSへ配信！

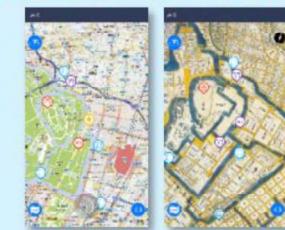


まちなかどこでも体験可能！



地図 古地図

現地では通常の地図から古地図へ切り替えられます。古地図上でも現在地がされ、古地図を見ながらのまち歩きが楽しめます。



現代地図 古地図

スタンプ ラリー

その地域ならではのまち歩き散策
をしながらスタンプを集めて、ご褒美をゲット！

ICT活用に関する意見書 概要報告



ご静聴ありがとうございました。

